

## 主な論点（案）

産業構造・就業構造の変化や、技術革新の進展、労働者の働き方の多様化など、企業や労働者を取り巻く経済社会情勢は変化し続けており、キャリアコンサルタントには、こうした変化に対応した支援を行う能力が求められている。

令和5年度に公表された「キャリアコンサルタント登録制度等に関する検討会」報告書においては、キャリアコンサルタントの能力向上やキャリアコンサルティングの普及促進のために必要な対応について提言がなされ、また今後の検討課題としてキャリアコンサルタントの能力要件等の見直しの必要性が指摘された。

また、令和7年2月から12月にかけて開催された「経済社会情勢の変化に対応したキャリアコンサルティングの実現に関する研究会」においては、経済社会情勢の変化に対応したキャリアコンサルティングに必要な能力について、活動領域ごとの整理が行われたところ。

こうした能力を身につけられる講習のあり方について、例えば、以下の点を中心に議論してはどうか。

○ 養成講習のあり方について

- ・ 経済社会情勢の変化に対応したキャリアコンサルティングを行うために追加・強化が求められている能力を身につけられるようにするため、養成講習の科目、範囲、および時間数について見直してはどうか。
- ・ 養成講習に盛り込むべき内容を、範囲ごとに明示することとしてはどうか。

○ 更新講習のあり方について

- ・ キャリアコンサルタントの活動内容や活動領域の多様化に対応した講習を設定しやすくなるように必要な見直しを行ってはどうか。
- ・ キャリアコンサルタントに求められる倫理や、環境への働きかけ、専門家との連携等、現在は更新講習の対象に含まれていないものの、その重要性が指摘されている内容について、更新講習の対象として含めてはどうか。
- ・ キャリアコンサルティングを適正に行うために必要な技能について、網羅的に維持を図れるようにするための見直しを行ってはどうか。

○ 養成講習及び更新講習の継続的な質の確保、適正な運営の維持のための方策について

- ・ 大臣認定を受けた養成講習及び大臣指定を受けた更新講習について、認定・指定の有効期間を設け、一定年数ごとに講習の内容や体制、運営状況を確認する仕組みを検討してはどうか。